

幼児教育センター開設!

今年4月、幼稚園や園の先生への教育面からのサポートや関係機関のネットワークづくりを目的として開設されました。幼児教育の調査・研究や、特別な支援を必要とする幼児への対応など、本市の幼児教育の維持向上を図る取り組みへの支援を行っていきます。

☎ 幼児教育センター ☎ 641・2030



公園が好きっちゃ!

※ 北九州市には、子どもが楽しめる遊具やお弁当を広げてのんびりと過ごせる芝生広場など、さまざまな特徴を持った公園が数多くあります。

市の公園の魅力や多様な楽しみ方を紹介した動画を市の公式チャンネルで配信しています▶



☎ 建設局緑政課 ☎ 582・2466

LINEでつながる!

北九州市公式アカウントを友だち追加することで、子育てに関する情報を気軽に入手することができます。操作方法については☎を。

相談

子どもの健康

赤ちゃんの駅

子育て教室

一時預かり

救急医療体制

ちょっとおでかけ



受信設定で欲しい情報が届く



防災情報



ダムの放流



市立学校の
一斉休校



保育所などの
受け入れ可能
児童数



市政だより



新機能情報



◀ 友だち追加は
こちらから

☎ 広報室広報課 ☎ 582・2236

小林 私も関東から北九州市に移住しました。北九州市は新幹線や空港もあって、とても便利だと思えます。こういった魅力をもっとアピールしてもらいたいです。

八児 子育て中の人たちに情報が届くようにしなければいけません。最近Instagramなどで、こういう遊びが楽しかった、こういう体験ができたといった発信をしている人がたくさんいます。私も北九州市の魅力を発信していきたいと思っています。

市長 さまざまな情報を出すだけでなく、届けるための努力が必要だと感じます。北九州市には、子育てや防災など自分が選んだ情報を受け取ることでできる公式LINEがあります。情報を出す側と、受け取る側がうまくつながるようにしていきたいですね。

子どもたちが安全に楽しめる公園づくりを

清永 ボール遊びが禁止されている公園もありますが、ボール遊びをしたい子、滑り台で遊びたい子など、いろいろな子どもがいます。皆が安全に公園を楽しめる仕組みがあるとよいと思います。

幼児教育の充実が魅力につながる

中田 子どもにいろいろな経験をさせたいという気持ちから、習い事をさせている人も多くいます。例えば理系教育など、北九州市ならではの幼児教育に力を入れていけば、子育て世代にとっても魅力的なまちになると思います。

地域のコミュニケーションが残るまち

八児 昔ながらの商店街やお店が残っていることも北九州市の魅力だと思います。子ども連れで買物に行くとお店の人が気軽に話しかけてくれたり、子どもにお菓子をくださったり、こういう体験ができるまちは減っているのではないかと思います。こうした魅力は、変わらず残ってほしいです。

市長 皆さんのお話を伺いながら、市と子育て世代の皆さんとのコミュニケーション、そして、子育て世代同士のコミュニケーションがとても大事だということが分かりました。今日は、多くの気づきをいただきました。これからも子育てする人に住み続けたいと思ってもらえるようなまちづくりを進めていきます。



子育て支援施設も充実!

子育てふれあい交流プラザ

木のおもちゃがいっぱいの遊び場、育児相談、イベント開催など、市の子育て支援の拠点となる施設。

〒802-0001 小倉北区浅野三丁目8-1、AIMビル3階 ☎522・4150
開10~18時 休第1・3火曜日
利用料金など詳細は☎を。



親子ふれあいルーム

乳幼児と保護者が安心して過ごしたり、保護者同士が交流を図る場として、各区役所や一部の児童館などに開設しています。

開設日・時間など詳細は各親子ふれあいルームへ☎を。市のホームページ(下記を読み取り)でもご覧になれます。

詳細は
こちらから▶



子どもの館

赤ちゃんから大人まで、家族みんなで楽しめるふれあいスペース。子育て支援イベントも定期的に開催しています。

〒806-0021 八幡西区黒崎三丁目15-3、コムシティ7階 ☎642・5555
開10~19時
休11月15日、12月6・20・31日
利用料金など詳細は☎を。

